



## 勇敢な

校長 富田 操

いよいよ秋の到来を感じる心地よい風が吹く季節になってきました。今の学校は以前と違って冷房が効いていますが、しかし、やはり自然の涼しい環境にはかないません。

運動や外遊び、そして学習に一年中で最も取り組みやすい時期になります。子どもたちが、運動や遊び、学習を大いに楽しめるよう見守っていきます。

さて、2年生の生活科で、1年生に学校を案内する学校探検のために「この部屋がどんな部屋なのかの説明文を扉にはる」という題材がありました。

例えば、職員室の扉に「しょくいんしつ。せんせいたちがいるへやです。」というような紙を扉に貼るのです。校長室にもその紙が貼られていました。そこには「こうちょうしつ。こうちょうせんせいがいます。」とあり、その下に「こうちょうせんせいは、ゆうかなこうちょうせんせいです。」と書いてありました。何をもって「勇敢な」と書かれたのかは分かりませんし、どういう意図で書かれたのかも分かりません。ただ、その言葉に私自身はとてとても励まされました。小さな学校とはいえ、211名の子どもがいて、その倍近くの保護者の方がいて、教職員がいる。そのことを考えると責任の重さに押しつぶされそうになることもあります。

しかし、そんなときに、この「ゆうかな」という言葉が私を助けてくれます。私は勇敢な人間でも何でもありませんが、少なくとも私に「勇敢であろう」と思わせてくれるのです。言葉には、大きな力があるものだな、と感じます。

言葉といえば、先月の学校だよりも書きましたが、この夏休みに千秀小学校の全職員で、今後3年間の中期学校教育目標をたてる話し合いをしました。今の千秀小の子どもたちと教職員のがんばってきたことと課題、これから子どもたちのためにどんな学校をつくっていくのか、を考えました。「ああでもない、こうでもない」と話し合いは長時間にわたり、いくつかの過程を経て、次の学校教育目標に決定いたしました。

### 千秀小学校教育目標【自分で考え 表現し 挑戦し続ける子】

となりました。この目標を見て「あれ？」と思われた方もいらっしゃると思います。そうです、結果としては、前3年間の中期目標と同じ目標となりました。「自分で考える」・「表現する」ことがこの3年間の取り組みでようやく進んできたという手応えを感じ始めていることや、この目標が3年間だけでは達成するのが難しい大きな目標であること、そして、今の千秀の子どもたちに足りないのは「粘り強く」「すぐにあきらめない」「失敗をおそれない」ことだと職員全員が感じていたことから、もう一度「自分で考える子」「表現する子」「挑戦し続ける子」を次の3年間の学校創り・子どもの育ちの目標と定め挑戦しよう！と考え、決定しました。

この目標は、学校の目標ではありますが、子どもの成長を考えると、学校だけで到達できるわけでは当然ありません。地域や家庭での成長があつてこそ、学校での成長もあります。今までも大きなご協力をいただいていたことが、子どもたちの成長のために、今後も変わらぬご支援とご協力をいただければ幸いです。

今月もよろしくお願いたします。